

令和6年度 第12回美里地域会議 会議録

日 時：令和7年3月13日（木）19時～20時30分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、中島 康隆、
野村 耕一、松村 洋、濱野 敏子、望月 英光、
森口 美代子、山本 由和、吉本 勝
（欠席）豊田 博久、丸石 敏憲
＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、川瀬主査

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 提言について（協議）

前回の意見を踏まえて修正した提言書の内容について協議した。合意が得られたため、本日合意した提言書で、令和7年3月25日（火）に提言する。

【意見】

- ・調査結果の分析が難しいので、その部分は特に専門家の協力をもらいたい。
- ・調査実施後、判明した課題を提言していくことになると思うが、令和7年度中に次の提言ができる見込みか。
（事務局回答）聞き取り調査の実施規模によっても変わってくる。おそらく、令和7年度中は調査と分析まで。提言は、委員改選後の令和8年度になる見込み。
- ・今までに地域会議が実施した調査とは違う調査であるということが、提言書に反映できるとよい。「新たな取組として」、「より広い視野で」などの表現を提言書に追加してはどうか。
- ・調査チームの構成案はあるか。
（事務局回答）提言後、専門家に依頼するまでの間に地域会議で協議し、決定する予定。
- ・令和7年11月に民生委員の改選があるので、改選前に調査を進められるとよい。
- ・3月の地区区長会で望月委員から各区長へ提言について情報提供してもらったが、4月に区長が変わるので、事業を確実に周知するため、4月以降に再度区長へ説明したほうがよい。
- ・美里地区の高齢化率は市内28中学校区中10番目と記載があるが、順位の記載は不要なのではないか。
（会長回答）統計上の数字を記載してある。このままで良いのではないか。
- ・高齢者福祉に関する事業は、市がすでに取り組んでいる。美里だけのために、市が動いてくれるのか。美里より高齢化率が高い地区でも、高齢者福祉に取り組んでいないところもある。
（会長回答）地域会議が提言したその地区の課題の解決に向けて、地区ごとに予算が付くのが、地域課題解決事業の仕組み。美里地区より高齢化率の地区であっても、他に優先して解決すべき地域課題がある場合は高齢者福祉を提言していない可能性もある。
- ・アンケートの対象者が高齢者となるので、答えやすい設問にしてほしい。
- ・調査後、地域特有の課題が分かればよいが、すでに市が取り組んでいる事業に関することばかりにならないか心配。

- ・令和7年3月1日時点の地区別、年齢別人口構成を見て、美里地区では70代が多いことをデータから認識することができた。10年、20年後には要介護認定を受ける美里地区の高齢者がかなり増えると思われる。
- ・身近な話題は自治区が解決し、大きな課題は市が解決する。その中間の課題を、私たち地域課題が捉え、解決していけると良い。

4 事務連絡

第13回美里地域会議について

- ・日時 令和7年3月25日（火） 午後7時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 豊田市長への提言